

1. 施設概要

施設名	高知市東部総合運動場	施設所管課	スポーツ振興課
指定管理者名	公益財団法人高知市スポーツ振興事業団		
指定期間	平成 24 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日	公募・指名の別	指名
設置目的	高知市の体育施設の一元的な管理運営と生涯スポーツの普及・振興を図る。		
業務内容	1. スポーツ施設の管理運営全般（施設利用許可含む） 2. 施設使用料の徴収事務 3. スポーツ振興に関する自主事業実施		
施設内容	・多目的グラウンド ・体育センター ・野球場 ・投球・打撃練習場 ・テニスコート（16 面）	・くろしおアリーナ （25m 温水プール、幼児プール、ジャグジー、50m プール、トレーニング室、ランニング走路、会議室） ・駐車場、緑地公園	
職員体制	常勤： 13 人	非常勤： 人	その他： 人 合計： 13 人

2. 利用状況

	H24年度（1年目）	H25年度（2年目）	H26年度（3年目）
利用者数	282,454 人	269,241 人	
開館日数	359 日	359 日	
稼働率	野球場 40.29%	野球場 40.61%	
	多目的グラウンド 39.12%	多目的グラウンド 36.56%	
	打撃練習場 33.39%	打撃練習場 28.83%	
	投球練習場 25.07%	投球練習場 25.02%	
	テニスコート 35.03%	テニスコート 33.01%	
	体育センター 80.46%	体育センター 82.36%	
	アリーナ体育館 54.16%	アリーナ体育館 50.41%	
	会議室 11.77%	会議室 13.61%	
事業開催数	6 （他補助事業として 17）	18 （他補助事業として 16）	

※ [利用率算出方法の説明] 利用率＝使用数÷使用可能数
仮にテニスコートの場合、実際の使用数（各コートごとの使用時間）を使用可能数（コート面数×1日の使用可能時間×日数）で除した数が利用率となる。

3. 収支状況

単位：千円

	H24年度（1年目）	H25年度（2年目）	H26年度（3年目）
収入	指定管理料	193,100	201,885
	利用料金収入	—	—
	事業収入	0	0
	その他	14	112
収入計	193,114	201,997	
支出	管理運営費	155,246	158,336
	人件費	37,868	43,661
	その他	0	88
	支出計	193,114	202,085

※ 施設使用料等収入については、高知市の収入とし、利用料金制度は導入していない。

※ その他の収入・支出の差額は、城ノ平運動公園のその他収入から支出。

4. 運営状況指標

	H24年度（1年目）	H25年度（2年目）	H26年度（3年目）
①事業収支（収入－支出）	0千円	▲88千円	
②利用料金比率	—	—	
③人件費比率	19.6%	21.6%	
④外部委託費比率	42.8%	41.2%	
⑤利用者 1 人あたり管理費	684 円	751 円	

5. その他特記事項

--

6. 評価結果

(1) 総合評価（審査委員会評価）

年度	総合評価	コメント（評価のポイント、課題及び改善点）
24	A	引き続き指定管理者に指定されていますが、「履行の確認」の前回指摘した事項について改善されたものがある一方、評価が下がったものがあります。指定管理者と施設所管課の両方で十分協議し、改善に向けた取組を進めてください。
25	S	「履行の確認」「サービスの品質」の項目において、前回指摘した事項について自主事業開催を増やすなど一定の改善がみられ、総合的には、良好な管理運営がなされていると考えます。今後は、緊急時の対応や再委託先も含めた接遇向上の取組を進めてください。
26		

(2) 1次評価（施設所管課評価）

年度	1次評価	コメント（評価のポイント、課題及び改善点）
24	A	施設利用者や教室受講者アンケートの実施により、運営改善に努めるとともに、地元団体や周辺住民との関係も良好である。また、グラウンド整備業務を委託から直営に見直したことにより、利用状況に即した柔軟な対応が可能となり、経費削減も図られている。施設としては、週末に競技大会を中心とした利用が多く、総合運動場（大原町）と比べると個人利用が少ない傾向にある。それぞれ施設としての特色があると思われるが、平日昼間のテニスコート及びアリーナ（体育館）など利用者増に向けて一層の取り組みを期待したい。なお、災害発生時等のマニュアル整備については、早急に対応が必要である。
25	S	平成 24 年度は日本スポーツマスターズなど大規模な大会が開催されたため、利用者数が例年より増加していた。平成 25 年度は野球場外野フェンスや打撃練習場等の改修工事があったが、平成 23 年度並みの利用者数を維持している。利用の少ない時間帯に各教室を開催し、利用促進に向けた取組を実施している。また、教室の内容について利用者の満足度が高く、市民サービスの向上に努めている。他にも、指定管理料を有効活用し、体育用具等を購入することで施設の充実を図れた。平成 24 年度同様、地元団体や周辺住民との関係も良好である。昨年度の課題であった災害時のマニュアルが整備され、改善に向けて取り組むことができたが、現場スタッフ等を交えた訓練を実施するなど、改善の余地がある。
26		

(3) 自己評価（指定管理者自己評価）

年度	自己評価	コメント（評価のポイント、課題及び改善点）
24	A	協定書・事業計画書他に定める管理運営は概ね実施できた。各種定期点検や適正な水質管理、場内清掃業務の強化を実施し、教室受講者へのアンケート等によりニーズの把握に努めた。また、競技大会時の職員による早朝出勤を継続し、競技団体との連携を図った。教室等各種事業の実施については、今後はメールや窓口での受付など、申込方法の多様化を検討・実施していく。施設の老朽化に伴う修繕については市と協議の上、引き続き計画的に行っていく。
25	S	協定書・事業計画書他に定める管理運営は概ね実施できた。各種事業については、補助金事業と自主事業の仕分けを行い、大幅な開催数増に努め、参加者には高水準の満足度を提供できた。施設管理については、電気料や燃料費の高騰を受けながらも指定管理料を有効活用し、高額消耗品の購入や各種修繕、プロ野球キャンプ時の清掃強化等を実施し、安全面や衛生面の充実を図った。今後、床転換機能を有するくろしおアリーナの老朽化を見据え、施設の長寿命化を実現できる保全計画を立案していく。
26		

7. 評価シート（自己評価・1次評価）
（1）履行の確認

中項目	確認内容	自己評価	1次評価
①事業、業務の履行状況			
使用許可等	使用許可等申請、受付は利用統計等が作成され、適正に行われているか。	3	3
利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行われているか。	3	3
苦情・要望への対応	苦情・要望処理の処理は適切か。	3	3
職員配置	基準に基づき、適切な人員配置がされたか。	3	3
職員研修	従業者に対し、施設の管理運営に必要な研修は実施されたか。	3	3
事業計画書	指定管理業務が事業計画書に沿っているか。	3	3
事業実施状況	事業の実施は仕様書等に適合しているか。	3	3
法令の遵守	法令に基づく検査、届出等はなされているか。	3	3
緊急時の対応	緊急時のマニュアルが整備され、従業者訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	2	2
保険加入	仕様書等に定める保険に加入しているか。	3	3
個人情報	個人情報の取扱い、従事者への研修、漏洩した場合の対策がとられているか。	3	3
情報公開	保有する文書が分類・整理され、閲覧等の請求があった場合にに応じているか。	3	3
②自主事業の実施状況			
事業の実施状況	自主事業は事業計画に基づき、公平に実施されているか。	3	3
事業実施体制	自主事業の実施体制・職員配置は適切か。	3	3
③施設の維持管理			
施設・設備の維持管理	施設・設備の維持管理基準が守られ、不具合が生じた場合は速やかに報告・対応しているか。	3	3
清掃業務の実施状況	清掃は確実にこなされているか。	3	3
警備業務の実施状況	マスターキー等の管理、警備業務は適切に行なわれているか。	3	3
廃棄物処理業務の実施状況	廃棄物処理は適切に行なわれ、運搬・処理を委託する場合は許可業者と契約しているか。	3	3
外部委託の実施状況	過度な外部委託は行なわれていないか。	3	3
備品管理等の実施状況	備品の管理・点検・保守は適切におこなわれているか。	3	3
20項目×3点=60点		59	59
		60	60

評価基準（再掲）

点数	小項目の配点基準
3	概ね協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が殆どなされておらず、早急な改善が必要である。

（2）サービスの品質

中項目	確認内容	自己評価	1次評価
①維持管理業務			
経費節減の取り組み	設備管理・修繕等が計画的に実施されているか。	3	3
備品等の管理	備品等の保守点検・補充は計画的に実施されているか。	3	3
施設維持管理の内容	施設の保守・管理やプール等の水質管理の対応は適切であるか。	3	3
②運営業務3			
利用案内	パンフレット・施設内利用案内・行事開催案内等は判り易く、使い易いものになっているか。	3	3
職員の接客態度	各担当者の接客態度は良好か。	3	3

利用者満足度の把握	利用者アンケートが実施され、運営に反映されているか。	3	3
利用促進に向けた取り組み	利用者の増加や利便性を高めるための取り組みが行なわれているか。	3	3
各種事業の内容	各種事業（講座・イベント等）は施設の設置目的に合致した事業であり、利用者が満足できる内容であったか。	4	4
市民サービスの向上	各種事業（講座・イベント等）は市民サービスの向上につながったか。	4	4
スポーツ行政への貢献	高知市のスポーツ振興に寄与する取り組みが可能か（スポーツ団体との連携・周辺住民との連携は問題ないか）	4	4
10項目×4点=40点		33	33
		40	40

評価基準（再掲）

点数	小項目の配点基準
4	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
3	概ね協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められている。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が殆どなされておらず、早急な改善が必要であり、目標の全面的な見直しが必要である。

（3）サービスの安定性

中項目	確認内容	自己評価	1次評価
①事業収支の状況			
事業収支	事業収支が赤字の場合、黒字化のための改善策が実施されているか。	3	3
人件費比率	支出に占める人件費の割合が減らされすぎていないか。	3	3
外部委託費比率	支出に占める外部委託費の割合が過度に偏っていないか。	3	3
3項目×3点=9点		9	9
		9	9

評価基準（再掲）

点数	小項目の配点基準
3	事業計画・収支計画等に基づく、経営がなされている。
2	事業計画・収支計画等に基づく、経営がなされているが、簡易な改善や一部業務の見直しを要する。
1	事業計画・収支計画等に基づく、経営が殆どなされておらず、早急な改善が必要であり、業務の全面的な見直しが必要である。

（4）評価

評価分類	配点	換算率	総評点	ウェイト	1次評価 評点	1次評価 換算後 総評点数	評価
（1）履行の確認	60	×0.500	30	60%	59	29	S
（2）サービスの品質	40	×0.375	15	30%	33	12	
（3）サービスの安定性	9	×0.600	5	10%	9	5	
合計	109	—	50	100%	101	46	

（評価基準再掲）

総評点数	46点以上	41点以上	36点以上	35点以下
評価	S	A	B	C
評価基準	適正に管理運営が行われており、優れた実績をあげている。	適正に管理運営が行われている。	概ね適正であるが、一部改善を期待する。	改善が必要である。